

2023年9月10日(日)

日本キリスト教団 <sup>きゅうほうきょうかい</sup>久宝教会

第66巻第23号(通算3355号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
週報

教会標語

かみさまがすべてのひととともにおられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に作る神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ  
聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい  
第16主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしょうめつ  
前 奏 黙 禱 AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ  
招きの詞 詩編 142編 2-4a節

きんび か めぐ きょうだんさんびかいいんかい  
賛美歌 21-288番「恵みにかがやき」(©教団讚美歌委員会)

せいしょ ふくいんしょ しょう せつ  
聖 書 ルカによる福音書 14章 25-35節

いの  
お 祈り

きんび か ばん おもに お もの ちよさくけんしょうめつ  
賛美歌 21-432番「重荷を負う者」(©著作権消滅)

メッセージ「手放したことで見えるもの」 牛田 匡 牧師

きんび か ばん だね  
賛美歌 21-199番「ひとつぶのからし種のよう」(©JASRAC)

しゅいの ばん てん ちち きょうだんさんびかいいんかい  
主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの  
献 げ 物 (\*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ  
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく うしだ ただし ぼくし  
祝 福 牛田 匡 牧師

こうそう ばん きょうだんさんびかいいんかい  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく ページ さんしょう  
報 告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

<sup>2</sup> 声を張り上げ、主に向かって叫び

声をかぎりに、主に向かって恵みを求めよう。

<sup>3</sup> <sup>みまえ</sup>御前に <sup>なげ</sup>嘆きを注ぎ出し

御前に苦しみを告げよう。

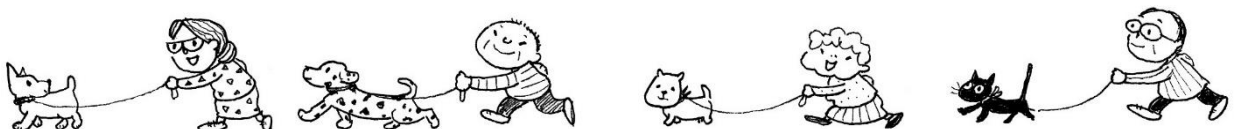
<sup>4</sup> 私の霊が <sup>な</sup>萎え果てるときも

あなたは私の小道を知っておられる。

聖書 ルカによる福音書 14 章 25-35 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>25</sup> 大勢の群衆が付いて来たので、イエスは振り向いて言われた。<sup>26</sup> 「誰でも、私のもとに来ていながら、父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分の命さえも憎まない者があれば、その人は私の弟子ではありえない。<sup>27</sup> 自分の十字架を負って、私に付いて来る者でなければ、私の弟子ではありえない。<sup>28</sup> あなたがたのうち、塔を建てようとするとき、造り上げるのに十分な費用があるかどうか、まず腰を据えて計算しない者がいるだろうか。<sup>29</sup> そうしないと、土台を据えただけで完成できず、見ていた人々は皆 <sup>あざけ</sup>嘲って、<sup>30</sup> 『あの人は建て始めたが、完成できなかった』と言うだろう。<sup>31</sup> また、どんな王でも、ほかの王と戦いを交えようとするときは、二万の兵を率いて進軍して来る敵を、自分の一万の兵で迎え撃つことができるかどうかを、まず腰を据えて考えてみないだろうか。<sup>32</sup> もしできないと分かれば、敵の王がまだ遠くにいる間に、使節を送って和を求めるだろう。<sup>33</sup> だから、同じように、自分の財産をことごとく捨て去る者でなければ、あなたがたのうち誰一人として私の弟子ではありえない。」

<sup>34</sup> 「塩は良いものである。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって味が付けられようか。<sup>35</sup> 土にも肥やしにも役立たず、外に投げ捨てられるだけだ。聞く耳のある者は聞きなさい。」



## 《先週のメッセージより》9月3日

「大事にされたい」より

水谷憲牧師

聖書 ルカによる福音書 14章 7-14節

「自尊 (pride)」という言葉には、2つ意味がある。「自分を大事にし、誇りを持つこと」と「自分自身を相当な存在であると思い込むこと」。どちらも、自分と他人との比較がスタートだが、ゴールが違う。前者は、能力の差などによらず、存在の価値としてはみな同じ、あなたも私も同じように尊いのだという結論。しかし後者は、自分はプラスで他の奴はマイナスなのだという結論。行きすぎ。自尊心が変に育つと、他者を見下す差別へとつながることに注意しなければ。

ある安息日、キリストは食事に招かれた。そこに水腫を患う人がいたが、放ったらかし。見かねたイエスは彼の手をとり、病気をいやして帰された。その場にいた人々にイエスは「自分の息子や牛だったら、安息日だからと助けずにおれるのか」と苦言を呈すが、それでも彼らは席順が気になる様子。そこでイエスは、上席を選ぶ客に言う。「招待を受けたら、むしろ末席に座っておきなさい」。社会的マナーの話ではない。自分は相当の者であると自惚れている姿を指摘しているのだ。それは他者を見下し、切り捨てる差別の構造にもはまりこむから。次にイエスは、招待側の人にも言う。「宴会を催す時は、友人や家族でなく、貧しい人や身体の不自由な人を招きなさい」。これは改めて考えると、神の人間に対する招きと同じ構図ではないか。私たちはキリストを通して受けた多くの恵みに対し、神に何も返すことができない。私たちはいつもいつも見守っていただき、支えていただき、励ましていただき、祈りを聞いていただき…いただきっぱなしなのに。そんな私たちが、とても返しきれない御恩のほんのわずかを、隣人一特に何かと排除されがちで、何のお返しもできないような人たちと分かち合うことが、せめてもの御恩返しとなるのではないか。

自尊心は、自分ひとりの力では育たない。こんな自分でも必要とされ、肯定されているという実感・体験によって育っていく。そのためには、自分も誰かを理解し、受け入れようとしなければ。「理解する：under-stand」とは、相手よりもより低いところに立って、相手のことを教えてもらおうとすること。誰かに大事にされたいのはみな同じ。どんな人に対しても真心から、尊敬を持って、いたわりの声や手を差し伸べることができる自分であれば、自然とみんな自分を上席へと案内してくれるはず。お互いにかけてあげのない存在として大事にし合いたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (9月3日)

礼拝出席 大人 5名 献金 大人 5,000円 中継視聴者数 7回 感謝

◎次週 2023年9月17日(日) 敬老の日礼拝(聖霊降臨節第17主日礼拝)

※教会堂での礼拝はございません。メッセージのみをYouTubeにて配信いたします。

招きの詞 コロサイ 3章 11, 15節

聖書 ルカによる福音書 15章 11-32節

メッセージ「あなたもキリストの一人」 牛田匡牧師

賛美歌 21-194 (©JASRAC)、21-437 (©JASRAC)、21-442 (©教団讃美歌委)

◎お知らせ

- ・次週 9月17日は、担当者不在のために教会堂は開きません。「週報」は事前にホームページに掲載いたします。またメッセージのみ YouTube にて収録動画を配信いたしますので、それぞれのご家庭などご利用ください。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。感染症や熱中症の予防のためなど、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・9月22日(金) 13時半~15時にかけて、大阪クリスチャンセンター(JR環状線・玉造駅下車徒歩約10分) 2階会議室にて「大阪教区2023年度防災講演会」が開催されます(主催:大阪教区災害対策特別委員会)。講師は三ヶ尻真基さん(大阪市危機管理室帰宅困難者対策コーディネーター)で、講演題は「災害対策と帰宅困難者対策」です。参加費は無料です。また会場での参加の場合は事前申込も不要です。なお ZOOM を利用して防災講演にオンライン参加をご希望の場合は、大阪教区事務所に連絡いたしますので、事前に牧師までお知らせください。
- ・9月24日(日) 14時~16時半にかけて、枚岡教会にて、河内地区合同壮年会が開催されます。礼拝の他、映画「100歳の少年と12通の手紙」の上映などがあります。壮年会以外の方でも、どなたでもご参加いただけます。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
9/17	(牛田牧師)	会堂不開場・メッセージ配信のみ(敬老の日礼拝)
9/24	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援(河内地区壮年会 14時~16時半@枚岡教会)
10/1	水谷牧師	(世界聖餐日)ユーカリスト
10/8	牛田牧師	教会を考える会



2023 日本基督教団大阪教区 年度防災講演

講演題『災害対策と帰宅困難者対策』

日時

2023年9月22日(金) 13時半~15時 講演と質疑応答

講師

みかじり しんき 三ヶ尻 真基さん  
大阪市危機管理室  
帰宅困難者対策コーディネーター

会場

大阪クリスチャンセンター内  
2階会議室  
大阪市中央区玉造2丁目26-47

主催

日本基督教団 大阪教区  
災害対策特別委員会

※資料については、当日配布いたします。  
問い合わせ: 災害対策特別委員長 西川 経史  
大和郡山教会 0743-52-5297

わたしたちは、いつ大規模な災害に遭遇するものか、誰にもわかりません。そして見知らぬ場所や街中で、突然、帰宅困難の状態になったら、果たしてどうするのでしょうか。そのため、今から十分な備えが出来るように、専門家による防災講演を計画しました。有事の際もあわてず、恐れず、冷静に対応できる行動や知識を身につけたいと思います。どうぞ、多くの方々と一緒に、学びたいと願っています。

《講師プロフィール》  
三ヶ尻 真基(みかじり しんき)さん  
2018年まで印刷インキを製造販売するDICグラフィックス(株)に勤務し、工場の安全、環境、防災に関わる業務に従事。特に防災では、いつ起こるかわからない首都圏直下型地震に備え、有事の際に機能する防災組織の構築や行動マニュアル等を作成し、危機に備えた。2020年より大阪市危機管理室に勤務し、地域防災力向上アドバイザーを経た後、2021年より現職の帰宅困難者対策コーディネーターに従事。

※Zoomにて、防災講演に参加・出席されたい方は、必ず教区事務所までお申し込みください。

大阪教区内の多くの方々参加を心からお待ちしております。